

北海道旅行 7. もうどれくらい あるいはきたのか



支笏湖

札幌から、一般道を走り、支笏湖、洞爺湖方面に向かいました。霧雨でした。支笏湖も周囲を原生林で囲まれていましたが、岸边に着くと湖は大きく静かに広がり、湖の前の林も清潔感が漂っていました。ビジターセンターが充実していて、子どもも大人も楽しめる展示がされていました。支笏湖自体の誕生物語の DVD も数カ国語で揃っています。懇切丁寧で、楽しめる展示でした。



トドマツ

野鳥の模型があり、名前の下のボタンを押すと鳴き声が出ます。樹木の幹と表皮で、種が分かるように。覚えたいと思っているのに、覚えただけからすぐ忘れる歳になりました。北海道に広く分布する、代表的な針葉樹はマツ科モミ属のトドマツ（左）とのことですが、北海道の木と指定されているのはマツ科トウヒ属のエゾマツ（右）です。両方とも日本では北海道にしか自生していない木とのことです。エゾマツが我らがお馴染みのクリスマス・ツリーになってくれるのです。



エゾマツ

再び車を走らせ、夫が一度観光した洞爺湖に向かいました。洞爺湖は観光地として非常に賑わっていました。ホテル、レストランが町を作っていました。ここまでやって来て「札幌ラーメン」を食べていないことに気づき、食堂を捜しました。とある店に入ったら、お奨めラーメンがありました。さっそく注文しました。麺にコシがあって、チャーシューは韓国風の味付けで美味。



洞爺湖の大島

洞爺湖の真ん中に大島があり、ここもエゾシカの観光スポットとのこと。有珠山の中腹には昭和山が噴煙を上げています。温泉もあり、変化に富む観光地でした。ここから、再び高速に乗って、函館を目指しました。



昭和山

しばらくすると豪雨になりました。高速といっても一車線、追い越しレーンが所々設けられていますが、ほぼすべての車が、先方が霧に煙る中を 100 キロで飛ばしています。車間距離をとって、私は 90 キロでじっと耐えました。「マイペース、マイペース」と言い聞かせながら、わが道を行く。道は似ていて、どれくらい走ったのか分かりません。内海湾沿いはずっと豪雨に祟られたのに、森インターあたりで雨が収まりました。

「大沼公園が待ってる！神様のお恵み！」それとばかりに高速を降りて、大沼公園方面に向かいました。一般道に下りると函館まで 30 キロとのことで、ますます嬉しくなりました。



大沼・小沼の湖上には 126 の島々が浮いているように点在しているそうです。小沼のほうの遊歩道を散策しました。なんて可愛い光景でしょう。水がたまった沼の溶岩の上に木が自生しています。松島を思い出しました。それもそのはず、新日本三景に選ばれたとのことです。ここでもハマナスが咲いて香りを放っていました。親子連れが釣り糸をたれて、土曜日の

休暇を楽しんでいました。夕方になり、公園もお終いになりました。車に戻ると雨がパラツキ出しました。もう、すぐ最終目的地、レンタカー返却地、函館です。